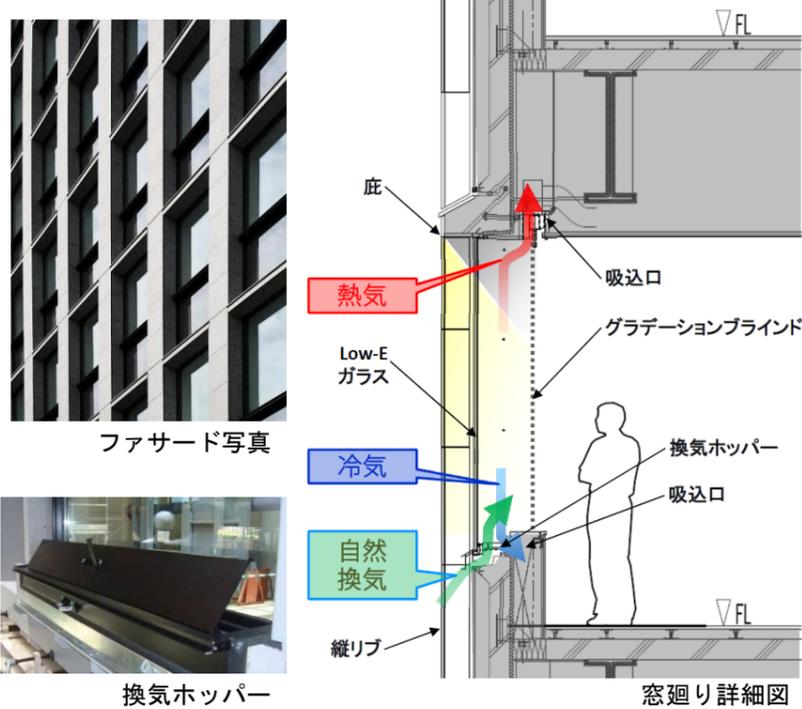


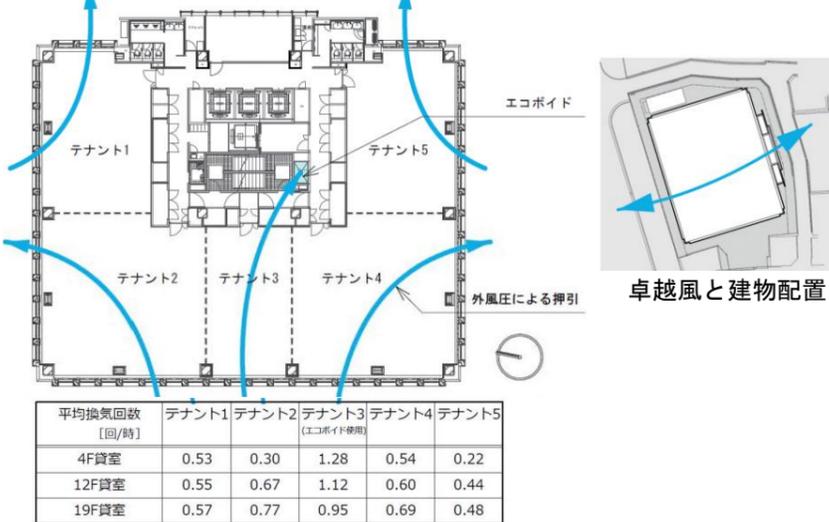
外装熱負荷低減と自然換気システム

西日対策として外装は格子のデザインとし、庇と縦リブで日射遮蔽を押し、Low-e 複層ガラスを採用。ブラインドの内側にエアフロー設備を組み込み、熱負荷の低減を行う。各窓には自然通風用の換気ホッパーを設け、大阪の卓越風やエコボイドと連携し自然換気ができるようにしている。

■テナント分割時の事務所階換気シミュレーション



■テナント分割時の事務所階換気シミュレーション



自然光の入る共用部

外壁に面したエレベータシャフトをシースルーにし、共用部の自然光利用を行う。



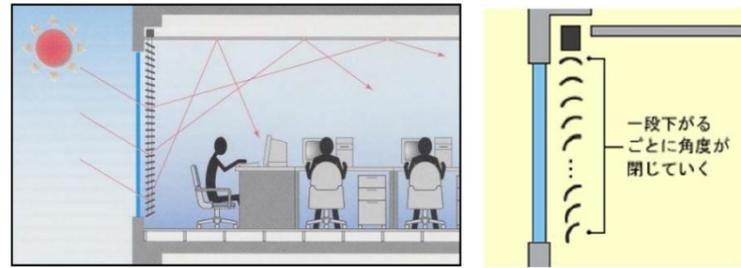
歩道緑化・ポケットパークの整備

建物周囲に整備した歩道を緑化し、ポケットパークを整備。



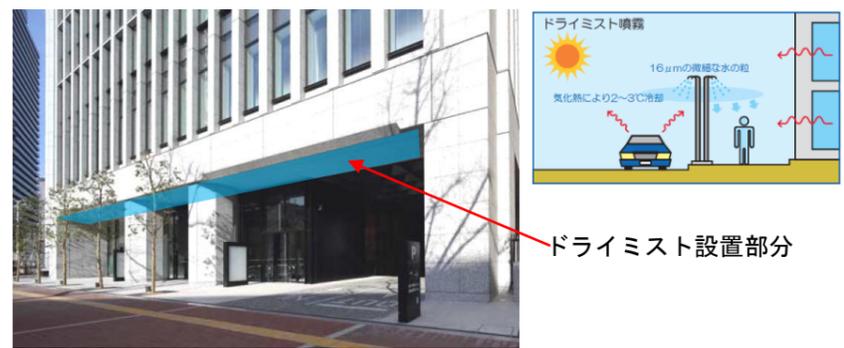
自然採光利用のできるグラデーションブラインド

下部は自然光を鋭角に反射して窓際の天井面にあて、上部の羽根は鈍角に反射して室内の奥の方まで自然光を採り入れるブラインドを採用。調光センサーと連携し省エネを図る。



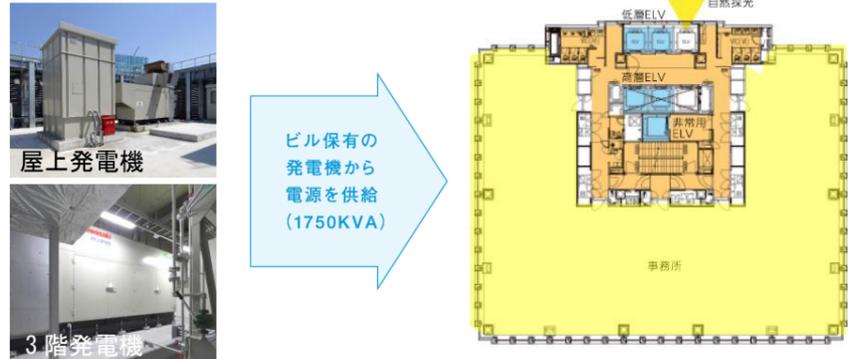
ドライミスト設置

歩行者の多い御堂筋側の歩道に面してドライミスト装置を設置し、ヒートアイランド対策と地域に貢献。



テナントエリアへ72時間電源を供給

1750KVAの発電機と80,000Lのオイルタンクを装備し、共用部及びテナントエリアへ電気を供給し、事業継続を可能にする。



上町断層・長周期微振動を考慮した制震集中構造

BCP対策による主要設備の地上階配置により、階高が高くなった低層階に制震装置を集中配置することで制震効果を高めた制震構造。



制震装置は装置の両端に生じる軸変形を回転運動に変換することで得られる質量効果を利用した回転慣性質量ダンパーとオイルダンパーを組み込んだ「ハイブリッド型制震ユニット」を採用している。

地下鉄接続部にエレベータ・エスカレータ設置

地下鉄営業時間中は地上へ上がるエレベータ・エスカレータが利用可能とし地域に貢献。

